

一般質問

6議員により8質問が行われました。

山崎澄子 議員

放課後児童育成 事業について

議員 保護者の職種の多様化に伴い学童保育の重要性が増してきました。

①利用入所。利用者増になった時待機児童が発生しないか。学校単位での設置も考えられる。

②開設時間。保護者の職種の勤務所在地等による預かり時間。長期休暇時の始、終了時間の拡大への考慮。

③衛生面。トイレが2か所です。増設をお願いします。若者の定住、住みたい町一番を目指し子育て支援の充実が必要だと思います。

町長 ①本年7月に保育スペースの拡充を図り、利用者が一時的に増加する夏休み期間中においても、当面需要に応えられると考えて



います。学校単位での開設については、子育て当事者をメンバーに加えた「甘楽町版子ども・子育て会議」を設置する方針であり、その中でご議論頂きたいと思っています。

②ご要望があることは承知してきます。引き続き検討していきます。

③現場の要望をもとに女子トイレの増設を検討しましたが、建物の構造上の制約等により見送った経緯がありますが、十分検討していきたいと思えます。

富岡朝男 議員

雨水排水路 整備事業の 推進について



雨水に対して苦慮しており、早い整備を望んでいます。町内各地域の住民の意見を聞きながら計画を推進してはいかがでしょうか。

町長 自然災害から人命・財産を守ることは行政の責務であり、これまでも雨水排水路整備事業等を計画的に実施してきたところで、

議員 いつどこで起こるかかわからないゲリラ雷雨等の自然災害から住民の生命、財産を守り安心して暮らせる地域づくりのためには、「雨水排水路整備」を町内各地で実施すべきと考えるがどうでしょうか。

善慶寺地区では、長年にわたり雷雨や台風等による

その際は、議会や区長会はもとより、地域住民の皆さんから広くご意見をお伺いし推進してまいります。

山崎愛子 議員

新設統合中学校の トイレについて

議員 トイレは校舎の中で死角にならない場所、排尿排便にかぎらず学習の場交流の場とし、職員室保健室支援学級の近くに配置。男子トイレは個室を多くし大小便の区別なく、女子トイレは流水擬音器を設け、エコに配慮した洋式水洗、節水型温水便座、対面式自動水洗手洗器。障害者のある方災害時の多機能トイレの設置も必要。トイレ清掃は乾式。トイレのあり方を保護者児童生徒の要望も聞き生かして頂きたい。

町長 新設統合中学校建設については、議会からも代表者2名を選出いただき、副町長を委員長として建設検討委員会を発足させて協



議員 新屋小の駐車場で、トラブルが何度か起こり、駐車場整備が必要と考えます。日々の利用状況には危険と思われる場面も見られます。新屋幼稚園においては、毎日の園児の送迎には新屋小の駐車場を借りています。今現在園児数70名に対し、駐車場の数が不足しており、多くの関係者が困惑しているのが現状です。

各幼稚園においても同様の事とされています。こうした状況をご理解いただき町の早急な対策を願います。

教育長 対策として、体育館南側や下平研修センターの駐車場を利用するよう、駐車マナー、交通マナーを



含め利用者に指導を行っています。幼稚園職員の駐車については、体育館南側へ移動させ、少しでも保護者の利便向上を図りたいと思います。今後もこうした状況が続くようであれば小学校校庭の一部開放を検討したいと考えております。また、駐車場の確保や施設の老朽化に対処するため、近い将来、幼稚園の統合を図り、教育環境の充実に努める所存です。

山田邦彦 議員

「ウッドスタート」開始を

議員 日本の漢字の中で一番多いのが「木偏」の字です。「木」は道具や材料として優れています。温かさや手触りの良さは私たちの心をリラックスさせ、より豊かにしてくれます。二〇〇六年に閣議決定された「森林・林業基本計画」において、「木育」と称し、事業を推進することが明記されました。「ウッドスタート」は、町内の木工愛好家（作家）から

町内木工愛好家等による作品展、啓発・普及の取り組み等を通じ、木材に対する親しみや木の文化への理解が深まることを願っており、木のおもちゃを満1歳の誕生日にプレゼントすることについては、今後、検討していければと思います。





などで免疫力が低下すると活動を始め、神経と皮膚を攻撃して带状疱疹を起こします。町がワクチン接種の補助を行い、苦しみを取り除くようにしては。

町長 带状疱疹ワクチンは、

日本ではまだ認可されていないようです。水ぼうそうワクチンの接種によって、带状疱疹予防の効果も期待されているという状況であり、国においては検討が行われているようですので、もう少し国や他の自治体の動きを見極めていきたいと思っております。

現状は、あくまで任意接種ですが、ワクチン接種の効用等を広めていきたいと考えています。

山田邦彦 議員

带状疱疹 (水ぼうそう) ワクチン接種 への補助を

山田邦彦 議員

「熱中症」対策など

議員 降れば、洪水、土砂崩れ、竜巻。照れば砂漠化、水不足、熱中症。その都度死傷者が出てしまう。そこで伺います。

①「熱中症」の患者数(年齢・地域・男女別) ②その状況(どこで、だが、どんなふう) ③予防策(見回り、確認など、特に高齢者世帯) ④どんな気温、湿度などになると「部活中止」「登校中止」「授業切り上げ」など基準などありますか ⑤今後の対策は、基準作りもすべきではないでしょうか。

町長 ①8名です。(70

歳代3名、80歳代4名、90歳代1名。新屋地区6名、秋畑・小幡地区各1名、小幡地区はなし。男性3名、女性5名) ②中等症が5名、軽症が3名です。半数の方が熱中症で、他の方は脱水症状です。発生場所は、屋内が6名、屋外が2名です。

議員 自分で事業の立ち上げは難しい。しかし、地域や故郷を元気にしたいので、復興や活性化のために、資金を生かしたいと思ってる方も多くいるようです。起業者の立場にたてば、

人格や将来性に貸し付けて貰える資金が、今必要ではないでしょうか。出資者と事業者が協同して、資金を募集し、地域活性化のために、取り組んで行く仕組みが望まれます。

今後、どのような生かし方が予想されますか。

町長 地域活性化ファンドのスキームもそれぞれの目的や規模に応じてさまざまなようです。一つの枠組みを考えると、

去に経験がありませんので、あくまでも一つの仕組みとしての基本的な考え方にすぎませんが、将来を見据えた新たな起業家支援のあり方として常に意識し、調査・研究を重ねていく必要があると思えます。



甘楽町議会だより(6)

吉田恭一 議員

地域活性化 ファンド について